

受験番号	
------	--

日本赤十字秋田看護大学大学院
看護学研究科看護学専攻修士課程

令和7年度 Ⅲ期 入学試験問題

〔科目試験〕

健康療養生活支援看護学分野（老年看護学領域）

【注意事項】

- 1 制限時間は60分です。
- 2 試験問題は、表紙を含めて全部で2枚あります。
- 3 受験番号は、この表紙と解答用紙の全てに記載してください。
- 4 質問があるときは、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 5 試験問題及び解答用紙は、持ち帰ってはいけません。

【問題1】 次の用語から1つ選び、事例や状況等を取り上げてわかりやすく説明をしてください。なお、文字数は200文字程度とする。

- ・ 認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)
- ・ アドバンスケアプランニング
- ・ 介護予防
- ・ エイジズム
- ・ フレイル

【問題2】 次の事例を読み、設問1と2のいずれかを選択して答えなさい。

事例 : 84歳、男性のAさんは、3年前に妻と死別し、それ以来自宅で1人暮らしをしています。定年まで真面目に小学校教員として働き、退職後は地域のボランティア活動への参加や年に数回の他県に住む長男夫婦と孫との交流を楽しみにしながら、生活をしていました。1週間前に自宅で転倒、大腿骨骨折のため緊急入院し手術を受けました。手術後3日経過した現在、退院に向けてリハビリテーションが開始されています。

設問1. Aさんは今回の入院をきっかけに自分に自信を失いました。ベッドサイドでのリハビリテーションでは理学療法士とうまくコミュニケーションがとれていますが、病棟では臥床している様子が多くみられます。あなたは看護師としてどのように関わりたいと思いますか。老年期の発達課題に関する理論や概念を1つ用いて具体的に説明してください。なお、文字数は400文字以内とする。

設問2. 今後、退院の方向性を決める退院支援カンファレンスを行う予定となっています。このカンファレンスに参加が望まれる専門職種と各職種に期待する役割、看護師が行う役割とケアについて具体的に説明してください。なお、文字数は400文字以内とする。

問題設定理由書

本学の看護学研究科老年看護学分野では、老年期にある人々の健康ニーズに対応し、その人らしい暮らしを続けられるようなケアの担い手、および教育・研究のリーダーを育成することを目的としている。そのため、老年看護学領域で取り扱う基礎的な知識として、アドバンスケアプランニングや介護予防などの用語に関する理解度を確認する問題を設定した。

また、老年期にある人びとの健康ニーズに看護師が対応するためには、老年期の発達課題を考慮した看護援助を実施する役割が期待されている。地域包括ケアシステムが推進してきた昨今、病院組織の看護チームだけではなく、院内外の多職種と連携・協力・調整といったチームマネジメントも必要な要素となっている。これら高齢者への看護の専門性を基盤とした知識に関する理解度を確認する問題についても設定した。

問題の設問形式はいずれも記述式問題とし、文章の読解力、知識、思考力・判断力・表現力を評価するものとした